

防災だより

平成 24 年 11 月発行
第 6 号

災害の発生を止めることはできませんが、事前に防災対策をしておくことで、被害を軽減させることはできます。実際に大地震が発令した場合を想定して、避難方法や連絡方法などを家族や地域の皆さんで話し合い、あらかじめ準備をしておきましょう。

巨大地震だ！ まずどうする？

- 強い揺れを感じたら、机の下に隠れるなど、周囲の状況に応じて、まず身の安全を確保しましょう。
- 揺れが収まったら火の元を確認しましょう。
- 強く、大きく、長い揺れは大津波地震！非常持出品を持って、ただちに高いところへ避難しましょう。
- 同報無線の放送（サイレン音）、携帯電話（緊急速報メール）や携帯ラジオで津波避難情報を確認しましょう。
- 揺れを感じなくても、同報無線などで津波警報や大津波警報を聞いたら、ただちに避難しましょう。
- 「津波だ、にげろ」と大声を出しながら、率先避難者となって避難しましょう。
- 市から避難勧告や避難指示が発令されたら、それに従いましょう。
- 徒歩や自転車などによる避難を原則とします。
- 津波は繰り返し襲ってくるので、津波警報等が解除されるまで避難を継続しましょう。
- 安全な場所まで避難したら、同報無線や携帯電話、携帯ラジオなどで正しい情報を入手し、開設された避難所に移動しましょう。

津波避難対策連絡会議を開催しました

南海トラフの巨大地震によって、広範囲にわたり浸水が予想される地区を対象に、自主防災会長、静岡県賀茂危機管理局と「津波避難対策連絡会議」を開催しました。緊急避難場所・避難経路の見直し作業をおこない、皆さんからのご意見を担当課にて集約しています。今後も各地域の自主防災会の皆さんとともに、それぞれの地域に合った避難計画の策定に向けて、緊急避難場所・避難経路の見直しを進めていきたいと考えています。



津波避難ビルを総点検しました

南海トラフの巨大地震の津波高及び想定浸水区域等が発表され、津波避難ビルの必要性の認識をあらたにしたところです。発災時に地域住民等が円滑に避難できるか、静岡県賀茂危機管理局職員とともに、実際に屋上等の避難場所を確認しました。



津波避難ビル一覧表（平成 24 年 11 月 1 日現在）

	避難ビル名	所在地	使用場所	可能避難人数(想定)
1	Eフラット I	一丁目 11 番 28 号	屋上、階段	80人
2	中喜ハイツ	二丁目 4 番 8 号	屋上	140人
3	葵ビル（紫苑）	二丁目 8 番 21 号	屋上	40人
4	葵ビル	二丁目 9 番 12 号	3 階	50人
5	三島信用金庫下田中央支店	一丁目 19 番 1 号	屋上	250人
6	澤村ビル	二丁目 11 番 14 号	屋上	70人
7	ナカムラビル	三丁目 4 番 24 号	屋上	70人
8	とん亭ビル	東本郷 1 丁目 4 番 3 号	屋上	90人
9	臼井医院	二丁目 3 番 27 号	屋上、6 階	80人
10	パーラー A C B II	一丁目 3 番 8 号	屋上	150人
11	後藤ビル	西本郷二丁目 21 番 11 号	3 階、階段	80人
12	東京電力下田営業センター	中 537 番地の 1	屋上	380人
13	伊鈴荘	柿崎 781 番地の 1	屋上	120人

下田市地域子育て支援センターが防災講座を開催しました

10月29日に下田市地域子育て支援センターが防災講座を開催しました。静岡県ふじのくに防災士・染谷絹代さんから巨大地震が起こった時のわが子の命を守るための知恵と工夫についてのアドバイスがありました。参加した人からは「子供に何が必要かなど具体的でわかりやすかった」「親として最初に何をすればよいか確認できた」などの感想をいただきました。



発行元：下田市役所市民課防災係 TEL：0558-22-2215

E-mail：shimin@city.shimoda.shizuoka.jp